

## 理由書

本市は、岐阜県の最南端に位置しており、西部は三重県いなべ市に、南部は三重県桑名市に、東部は木曽・長良川に沿って、愛知県愛西市・稲沢市に、北部は養老町・輪之内町・羽島市に接しています。また、交通、産業、物流等の広域的な拠点である名古屋市、岐阜市及び四日市市等の都市が約 30km 圏内に位置しております。

そのような中で、少子高齢化の進行や本格的な人口減少の到来、デジタル社会の進化や頻発化する自然災害など、都市を取り巻く環境は大きく変化しており、本市においても対応すべきまちづくりの課題が多様化しております。そこで、本市の実情にあった持続可能なまちづくりを行うため、令和 5 年 3 月に、海津市都市計画マスタープラン（以下、「市都市計画マスタープラン」という。）を策定しました。

安江日原線、養老輪之内海津線は、市都市計画マスタープランにおいて、都市構造の骨格となり、本市と名古屋市や大垣市、桑名市等の隣接都市とを結び、広域化する生活行動・都市活動を支える軸を構成する道路として位置づけています。

海津市が目指す将来像や都市構造の実現に向け、今回、これらの道路を都市計画決定するものです。

### 1 当該都市計画の都市の将来像における位置づけ

#### (1) 海津都市計画区域マスタープラン（令和 3 年 1 月 15 日変更）

本市の主要な市街地を結ぶ東西方向の広域幹線道路は、揖斐川今尾橋から長良川南濃大橋間の（主）岐阜南濃線や（一）養老平田線、揖斐川福岡大橋から長良川東海大橋間の（主）津島南濃線です。長良川においては、東海大橋から下流の長良川大橋・立田大橋間が約 9 km 離れているなど、本市との広域的な交通の確保をするための基幹道路が不足している状況にあることから、（仮称）愛津大橋を含む安江日原線や（仮称）新養老大橋に繋がる養老輪之内海津線の整備を検討することとしています。

#### (2) 海津市都市計画マスタープラン（令和 5 年 3 月策定）

周辺都市との広域的な連携を強化し、生活圏の利便性を高めるため、都市間幹線道路ネットワークの充実を目指します。特に東西方向の主要な幹線道路となる安江日原線、養老輪之内海津線の整備促進に向け、都市計画決定を検討することとしています。

### 2 当該都市計画の必要性及び妥当性

本市は、非線引きの都市計画のなかで発展してきました。周辺には、名古屋市、岐阜市及び四日市市等の都市があり、住宅地・商工業地として、土地利用の将来性が高い地区であります。

そこで、幹線道路ネットワークを構築するため、安江日原線及び養老輪之内海津線の都市計画決定を行います。

これにより、既存の駒野工業団地や今後整備予定の海津 SIC 周辺の工業団地までの道路アクセス性が向上し、両工業団地が産業拠点となります。これは、市都市計画マスタープランの方針に沿った産業系土地利用の誘導に寄与するものです。

さらに、周辺都市と形成する広域的な生活圏の連携や既存の観光施設への観光客の増加が期待されます。加えて、災害時における避難、救援活動や緊急物資の輸送ルートが確保され、緊急時の広域的な道路ネットワークが強化されます。

なお、本計画は、隣接する市町との道路ネットワークの連続性・一貫性を確保しており、道路幅員や構造も整合性のとれた計画となっています。

※都市計画決定を目指す道路名を市都市計画マスタープランにおいては、(仮称)安江日原線及び(仮称)輪之内海津線と表現していますが、都市計画道路名と統一を図るため、理由書は安江日原線及び養老輪之内海津線と表現します。